

2022-23 年度RI 会長 ジェフアー・ジョーンズ (カナダ: ウィンザー・ローズランドRC) 第2820地区ガバナー大野治夫 (つくば学園RC)

国際ロータリー 第2820地区(茨城) 第1分区 日立港ロータリークラブ週報



2022. 10. 13  
第 209 回例会

会長 山口憲生 会長I/O 鈴木崇久 幹事 佐藤泰子

- 事務局 日立市大みか町 2-28-5 渚会館 TEL 0294-53-6411
- 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
- 例会場 美かの 日立市大みか町 6-14-12



10 月は経済と地域社会の  
発展月間。米山月間です。

会長挨拶 山口憲生 会長



今日は、「時事問題」をお話しします。ロシアのウクライナ侵攻に伴う連日の戦闘情勢のニュースが絶えません。一方中共党大会が近づく中、台湾侵攻の有無を論じる記事、加えて北朝鮮のミサイル発射が続いています。あたかも世界史の転換期の中にいるようです。ところで第2次世界大戦後に生まれた「国際連合」は平和を守ることを目的としていますが、その国連憲章の起草には国際ロータリーメンバーが参加していました。特に関与したといわれる経済社会に関する条項を見てみます。第1条(国連の目的)第3項です。「経済的、社会的、文化的または人道的性質を有する国際問題を解決することについて、並びに人種、性、言語又は宗教による差別なくすべての者のために人権及び基本的自由を尊重するように助長奨励することについて、国際協力を達成すること。」

RI には平和への具体策に「平和アカデミー」という紛争解決を担当する人材育成プログラムもありますが、考えてみれば私たちも平和につながるプロジェクトを身近で行っています。まず今年1月の第1分区 IM のテーマを「国境なき医師団に学ぶ」とし支援金を支出しました。また新井ガバナーの呼びかけでウクライナのロータリーに支援金を第2820地区から送金しました。さらに当クラブがホストクラブのスポンサーとして実施した8月のインターアクト年次大会では、ウクライナ出身で茨城キリスト教大学講師のジャブコ・ユリアさん、留学生マルタ・イリョさんの基調講演を得て、異文化理解につき学びました。また聴くところによると、第

1 分区笹島ガバナー補佐は、来年の1月の IM のテーマに「ウクライナ」問題を取り上げようとお考えのようです。以上、ロータリー活動が時事とつながっている例を取り上げてみました。

例会報告

開会点鐘 山口憲生 会長  
R ソング 「我等の生業」

本日のビジター紹介 今野紀仁 親睦活動委員長  
米山奨学生 ハニフさん  
ようこそいらっしゃいました。

出席報告 山口彰二 SAA

会員数	出席数	出席率
35	23	69.70%
出席免除者数	前回訂正	合計出席率
4(本日2名出席)	10	100.0%

本日の食事メニュー：秋刀魚の塩焼き

にこにこBOX 報告 山口彰二 SAA

【ご芳志を頂いた方からのコメント】

- 今野紀仁さん…ダブル受賞となりました。長く一緒にいると色々なことがあるなあと思う今日この頃でございます。(10月誕生・結婚祝い)
- ゴルフ同好会…10月10日(月・祝)秋の親睦ゴルフコンペを実施しました。次は12月のクリスマス例会コンペです。会員の皆様の多数参加をよろしく願います。
- 古川英希さん…親睦ゴルフコンペで優勝、馬券が的中しました。次回も頑張ります。

目標 1,266,000 円  
本日のご芳志 12,000 円  
トータル 528,000 円

幹事報告

佐藤泰子 幹事

【受信書簡・メール】

- ・オーストラリア メルボルン世界大会開催のご連絡
- ・地区大会での各クラブ活動報告画像放映のための写真の依頼
- ・米山記念奨学会日本文化体験研修旅行報告動画の視聴について
- ・茨城ロボット観戦応援増員のお願いおよびロータリークラブPRブースについて
- ・しいの木学園 寄せ植えプランターの御礼
- ・みなみひまわり通信 10月号
- ・日立太陽の家 太陽の子 秋の号
- ・コミュニティ NET ひたち 設立 20 周年記念写真・俳句展 (太田会員)
- ・大野ガバナーお迎えしてプライベートコンペおよび懇親会のご案内

米山奨学金の交付

山口憲生会長から10月分米山奨学金を交付しました。



本日のプログラム

私と RC

太田秀夫 さん

『海外旅行シリーズ第13 イギリスの旅』  
～エリザベス女王の国葬に因んで～



私の「卓話の泉」:  
行シリーズのバックナンバー  
第1弾 オリент急行の旅  
第2弾 ハワイでゴルフ

- 第3弾 香港・マカオの旅
- 第4弾 スイス鉄道の旅
- 第5弾 オーストラリア世界遺産を巡る旅
- 第6弾 ポルトガル・スペインの旅
- 第7弾 カナディアンロッキーの旅
- 第8弾 アメリカ東海岸の旅
- 第9弾 トロント紀行 (カナダ東部)
- 第10弾 ポーランドの旅 (アウシュビッツなど)
- 第11弾 南十字星を仰ぐ旅 (ニュージーランド)
- 第12弾 ウクライナへの心の旅  
(ひまわりのギター演奏付き)

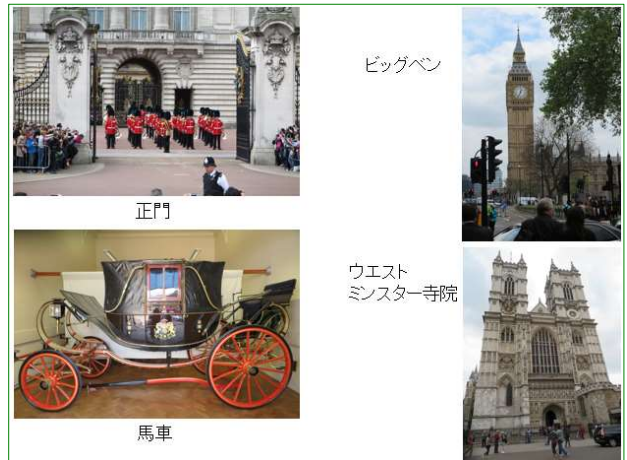
1. 旅程 2016年5月11日～30日



2. ロンドン



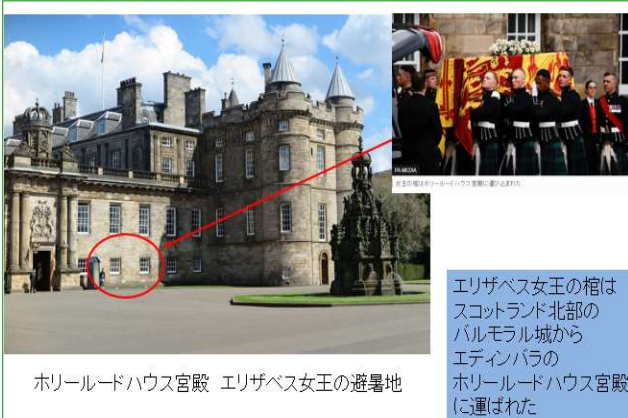
3. バッキンガム宮殿と議事堂周辺



4. エディンバラ 1



5.エディンバラ 2



ホルロードハウス宮殿 エリザベス女王の避暑地

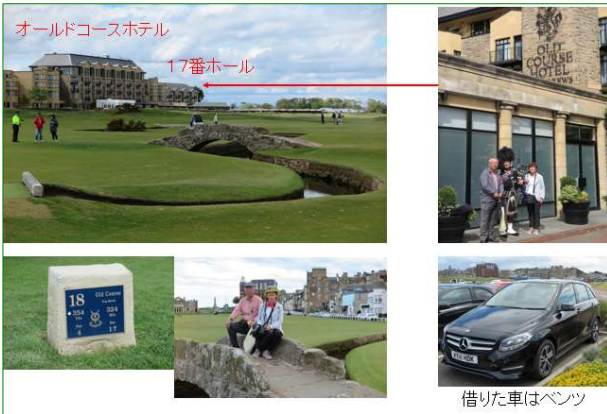
エリザベス女王の棺はスコットランド北部のバルモラル城からエディンバラのホルロードハウス宮殿に運ばれた

6.セントアンドリュース

(第 150 回全英オープン開催コース)



7.セントアンドリュース 2



8.セントアンドリュース 3



9. 湖水地方とコッツウォルズ



10.再びロンドン バッキンガム宮殿の衛兵交代式



<https://www.dropbox.com/s/fxco3cfvqbf2kpa/%E8%A1%9B%E5%85%B5%E4%BA%A4%E4%B%B%A3%E5%BC%8F.MP4?dl=0>

外部卓話 ハニフ さん  
『 私の故郷 』



皆様、こんにちは。今日は卓話をさせていただき、誠にありがとうございます。本日は「私の故郷」について発表させていただきます。久々長いスピーチをしますので、少し緊張して

いますが、本日の卓話の内容は皆様のお心に少しでも残るお話ができれば、嬉しいです。では、本日はどうぞよろしくお願いたします。セラנגール州とトレンガヌ州についての順でお話したいと思います。

セラングール州

私の一つ目の故郷はセラングール州です。生まれてからセラングール州に住んでいます。図 1 はセラングール州の旗を表します。赤い部分は勇気を象徴して、黄色の部分は、セラングール州のス

ルタンの王族を表しています。セランゴール州の国教はイスラム教で、旗に月と星が描かれています。図 2 はセランゴール州の位置を示して、クアラルンプールとポトラジャヤを取り囲んでいます。

日本からセランゴール州までは飛行機に乗ると、約 7 時間半がかかります。



図1. セランゴール州の旗

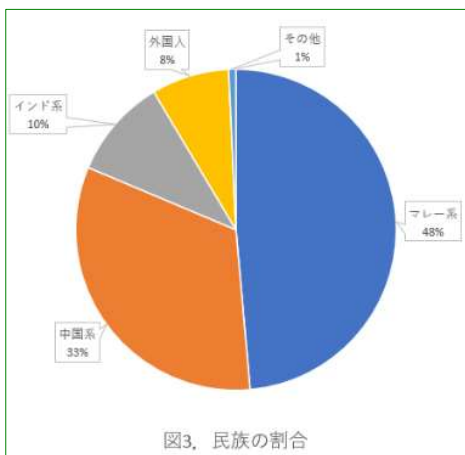


図2. セランゴール州の位置

**人口と民族**

セランゴール州での人口は約 700 万人がいて、マレーシアで最も人口が多い州となっています。

これはなぜかという、セランゴール州にはクランバレーという、国内最大の大都市があるからです。マレーシア半島の中心にあるセランゴール州の地理的位置は、マレーシアの交通および産業の中心地としての州の急速な発展に貢献し、雇用を創出し、他の州や他のアジア諸国からの移民を引き付けました。下の図を見ると、その人口の中で、約半分がマレー系で、33%が中国系、10%がインド系、外国人が 8%とその他が 1%です。セランゴール州でよく使われる言語はマレー語と英語です。



**経済について**

続いて、セランゴール州の経済について紹介します。商業、産業やサービスなどは、セランゴール州の経済に大きく貢献しています。そして、い

くつかの産業サイトは、電子製品、化学薬品と車両を生産しています。マレーシアの第一の国産車メーカ、プロトンと第二の国産車メーカのプロデゥアがそれぞれの本社はセランゴール州に構えられています。図 4 と図 5 はそれぞれプロトンとプロデゥアのロゴマークを表します。



図4. プロトンのロゴマーク

図5. プロデゥアのロゴマーク

プロトンは当初三菱自動車工業と資本と技術面で緊密に提携していました。プロデゥアはダイハツ工業との合弁会社で、コンパクトカーを中心に製造と販売する自動車メーカです。プロトンとプロデゥアの他にはトヨタ、日産、フォルクスワーゲン、BMW モーターズなどの輸入車もセランゴール州で組み立てられています。クラン都市にある、クラン港はマレーシアで最も忙しい港であるため、セランゴール州の産業発展において重要な役割を果たしています。

**セランゴール州での観光地**

続いて、セランゴール州の観光地について紹介します。最近ではセランゴール州での観光地が増えていますが、今日は 3 つの有名な観光地を紹介します。一つ目はセランゴール州の州都、シャーアラムにある「スルタン サラフディン アブドゥル アジス モスク」、またはブルーモスクです。

最大収容人数 2 万 4 千人のモスクで、東南アジアで 2 番目の大きいモスクです。太陽光を浴びて輝きを放つ青のドームと、空に向かって伸びる高さ 140m の 4 本のミナレットが建てられています。モスクの内部を見学する際は、英語で説明するガイドさんが付きます。



図6. ブルーモスク

二つ目の観光地はバツ洞窟です。バツ洞窟はセランゴール州のゴンバツ都市バトゥ・ケーブスにある巨大な洞窟です。マレーシア随一のヒンド

ウー教の聖地の洞窟とされています。洞窟内には多くのヒンドゥー神話に基づく展示や壁画があります。洞窟を形成する石灰岩はおよそ4億歳とされています。毎年1月下旬から2月上旬にかけて、ヒンドゥー教最大の祭り「タイプーサム」が洞窟内で行われます。



図7. バトゥ洞窟の入口、右はスカンダ神

最後に紹介する観光地はクラン タウンヘリテージです。マレーシアのセランゴール州で最も古い町の1つとして知られるクランは、伝統、歴史、文化が染み込んでいます。元州都の為、王宮文化や多民族文化を感じられる様々な文化的建造物が残っております。ここでは、ロイヤルクラン タウンヘリテージ ウォークという無料のツアーがあります。インド人街、王宮博物館、ルルドの聖母教会など、クランの歴史的な11の観光地を巡りながら、クランの歴史を学ぶことができます。



図9. 王宮博物館



図10. ルルドの聖母教会

### セランゴール州での食べ物

続いて、セランゴール州での有名な食べ物について紹介します。一つ目はバクテーという食べ物です。バクテーはマレーシアの中華系民族の朝食

として有名なメニューの一つです。骨付きの豚肉を、数種類の漢方や野菜と一緒に煮込んだ鍋料理で長時間コトコトと煮込んだ豚肉はスープがしみ込み、とても柔らかな食感ができます。



図11. バクテー

スープは濃厚な味でご飯がすすむバクテーもあれば、シンプルなあっさりとしたバクテーもあります。漢方と一緒に煮込んでいるため、アンチエイジングにも効果があると言われる、女性にはうれしいメニューです。最近では日本でも専門店ができています。

二つ目の紹介する食べ物はサテーです。サテーはマレーシアの定番料理代表です。セランゴール州にある、カジャンという都市はサテーの聖地と言われています。下味をつけた鶏肉や牛、羊肉等を串に刺して炭火焼したマレー風焼き鳥で、甘辛のピーナッツソースを付けて食べると、美味しいです。屋台街(ホーカー)や夜市(パサマラム)などでも定番のストリートフードです。最後に紹介する食べ物はバフルケンボジャという甘いケーキです。



図12. サテー

バフルケンボジャーは昔からの人気なケーキで、今でも人気があります。伝統的なバフルケンボジャーはアヒルの卵だけで作られています。いつでも食べることができて、朝食やティータイムに、美味しいコーヒーや紅茶と一緒に食べることもできます。このケーキは広く販売されていますが、オリジナルのバフルケンボジャーの味はセランゴール州でしか味わえません。



図13. バフルケンボジャー

### トレンガヌ州

私のもう一つのふるさととはトレンガヌ州です。先ほどのセランゴール州はお母さんのふるさとですが、お父さんのふるさととはトレンガヌ州です。私が8歳の時、お父さんの仕事の関係で、トレン

ガヌ州に引っ越ししました。4年間ほどトレンガヌ州に住んでいました。今までも、マレーシアにちょっと帰れば、たまにトレンガヌ州に住んでいるとこと遊びに行きます。図14はトレンガヌ州の旗を表します。白い部分はトレンガヌ州のスルタン、あるいは国王を意味します。黒い部分は州の市民を表して、黒地を囲む白い境界線はスルトンの義務を表します。セランゴール州と同じく、星と月はイスラム教を示しています。図15はトレンガヌ州の位置を示して、マレー半島東部に位置します。セランゴール州から飛行機に乗ると約1時間がかかって、車なら約6時間がかかります。

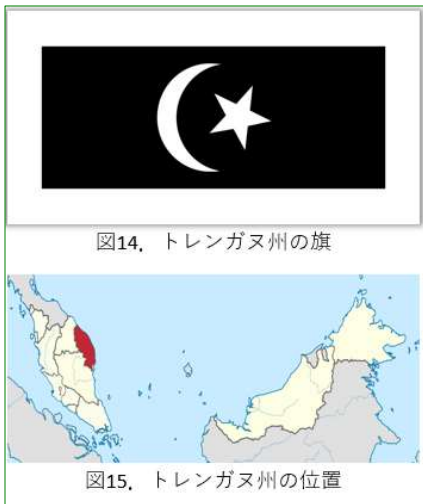


図14. トレンガヌ州の旗

図15. トレンガヌ州の位置

人口と民族

トレンガヌ州での人口は約128万人がいます。また、セランゴール州と違って、トレンガヌ州は多民族化されていない州と知られています。それはなぜかという、トレンガヌ州での人口の民族は95%がマレー系であるからです。マレー系のほかには中国系、インド系などがいますが、図16によるとあまり多くないです。しかし、どんな民族であっても、みんなはマレー語のトレンガヌ方言で話しています。トレンガヌ方言はセランゴール州とクアラルンプールのマレー語とだいぶ違いますので、私にも少

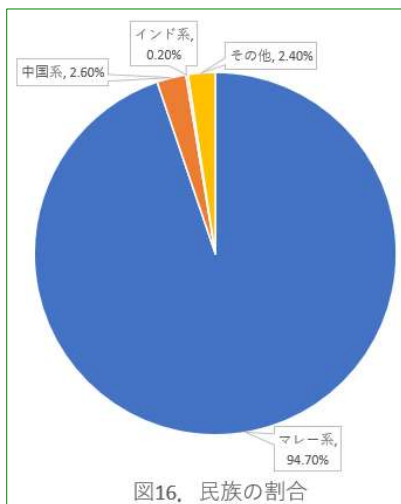


図16. 民族の割合

し理解しにくいです。

トレンガヌ州の魅力

トレンガヌ州の大きな魅力はマレー文化の故郷とレダン島が挙げられます。トレンガヌ州はマレー文化の故郷と知られている理由は、この州では昔からマレー系が多い州となっているため、昔ながらのマレーの伝統が深く浸透しています。一つの例を挙げると、バティックです。

バティックはマレーシアのろうけつ染めの布です。ろうで模様を描き、カラフルに染色します。マレー半島東海岸が産地で、熟練の職人が手描きしたバティックはすばらしい出来栄です。おもに綿、シルクの生地に描かれており、ハンカチから衣装まで、様々なものの布として使われています。トレンガヌではバティックの染色体験が人気のアクティビティになっています。図20は様々なバティックのパターンを表します。図21は家族全員で、トレンガヌ州で買ったバティックを着ながら取った集合写真です。



図20. 様々なバティックのパターン



図21. 家族でのバティックの服

続いてワヤン・クリッです。東南アジア諸国に古くから伝わる影絵芝居は、マレーシアでは「ワヤン・クリッ」と言います。人形は水牛の革で作られ、色鮮やかな模様が実施されています。上映される物語はインドの叙事時が多く、図22に示す、ダランと呼ぶ影絵師が、伝統楽器の音色に合

わせて話をすすめていきます。上映の時で使われている言語は、一般の人や地元のマレー語の方言に慣れていない人にとっては理解しにくいかもしれませんが、画面上の影のダンスと美しい音楽は興味をそそられ、時には面白いものです。



図22. ダランが伝統楽器の音色に合わせて話をすすめていく

トレンガヌ州にはいくつかの沖合の島があり、その中で一番有名な島はレダン島です。レダン島は沖に浮かぶ島で、海の透明度と白い砂はマレーシアで屈指の美しさです。島にはシャレーや高級リゾートが点在しています。アクティビティは主にダイビングとシュノーケルで、ボートで近くの島へ行って、ダイビングやシュノーケルを楽しむことができます。宿泊施設前のビーチにもウミガメがやってくることもあります。しかし、11月～2月は雨季の為、一部のリゾートやフェリーが運休になります。



図23. レダン島

### トレンガヌ州での食べ物

続いて、トレンガヌ州での有名な食べ物をご紹介します。マレーシアでは普段トレンガヌと言えば、クロポ・レコーが頭に浮かびます。クロポ・レコーはトレンガヌ州に由来する伝統的なマレー系の魚のおやつです。魚粉とサゴ澱粉あるいはサゴヤシを塩と砂糖で味付けしたものです。色はやや灰色がかっており、油で揚げて冷めると魚のような

味と匂いが強くなります。レコーという言葉は、「転がる」を意味するマレー語のトレンガヌ方言に由来すると言われていています。通常は、魚や野菜をすりつぶしてペースト状にして、サゴ澱粉と混ぜて揚げたものです。クロポ・レコーゴレンとクロポ・レコークピングの2種類のクロポ・レコーがあります。クロポ・レコーゴレンはソーセージのような形で歯ごたえがあります。一方、クロポ・レコークピンは揚げる前にスライスしてサクサクした食感にします。トレンガヌ州ではクロポ・レコーを購入できる屋台がたくさんあり、伝統的にスパイシーなチリのディップソースを添えて熱々で食べるとすごく美味しいです。ちなみに、クロポ・レコーはマレーシアで私の一番好きなおやつです。



図24. クロポ・レコーゴレン



図25. クロポ・レコークピン

もう一つのトレンガヌ州に由来する伝統的な食べ物にはナシダガンです。ナシダガンはココナツミルクで炊いた飯にフィッシュカレーをかけ、ココナツのフライ、固ゆで卵、野菜のピクルス等を添えたマレーシア料理です。ナシダガンの文字通りの意味は「貿易米」です。トレンガヌ州のほかにクランタン州等のマレー半島東部の州では朝食としてよく食べられる食べ物です。



図26. ナシダガン

以上、私の故郷についてご紹介いたしました。もし、マレーシアに旅行したら、是非とも先ほど紹介したセランゴール州とトレンガヌ州に行ってみてください。ご清聴ありがとうございました。



## 米山月間の由来

今年も米山月間がやってまいりました。国際ロータリー理事会が指定したロータリーの特別月間とは別に、日本独自の月間テーマとして、毎年10月は米山月間となっています。今回は改めて、その由来についてご紹介します。

1975年8月、米山梅吉翁が逝去した4月28日までの1週間を「米山週間」とすることが決定しました。ある地区ですで行われていた強化活動を全国へ広げ、米山奨学事業を促進することが目的でした。しかし1980年度になると、米山週間は4月から10月1日～7日へと変更されました。その理由はいくつかあります。一つには「ロータリー雑誌週間」が1978年度から4月となり、重なってしまったこと。また、4月では各クラブへ送付される事業報告書などの資料数字が約1年前のものとなることや、採用されたばかりの奨学生に卓話を依頼することに無理がある、交通機関のストライキが多い、など現実的な支障があったためです。そして何よりも、東京RCによる米山基金から日本全地区クラブの共同事業とする決議や合意が行われた地区大会が、いずれも10月だったこと、これが大きな理由とされています。1983年からは週間制度が「月間」となり、10月が米山月間として定着し、今に至っています。当会の配布資料などを活用し、米山への理解促進へのご協力をお願いいたします。

ハイライトよねやま 10月13日号

## 今週の会場の花

“ピンクのバラ” 花言葉：温かい心



閉会点鐘 山口憲生 会長

## その他のお知らせ・連絡事項

★★ 行事の申込受付案内 ★★

### ◆ 地域ボランティア・優良従業員表彰

10月27日(木) 12:15～ 美かのご出欠の申込みは、例会場受付または電話・メールにて事務局まで!!!

## 今後のスケジュールのご案内

- 11月3日(木) 休会(文化の日)
- 11月10日(木) 12:30～ 美かの  
「テーマ卓話 シンパシー・同感・共感  
外部卓話(認定こども園 予定)」
- 11月17日(木) 12:30～ 美かの  
「会員卓話 神山靖基さん」  
「私とRC 岩田秀邦さん」
- 11月24日(木) 18:00～ 夜間例会  
「会員一言卓話 小松茂一さん」
- 12月1日(木) 12:30～ 美かの  
「テーマ卓話 シンパシー・同感・共感  
会員卓話 島田裕さん」

## 編集後記

10月11日より全国旅行支援が始まった。割引率40%で、1人1泊最大で8千円割引となり、更には平日では3千円のクーポンが配布されるようだ。最近のTVではホテル空き状況、何処に行くのが得かの話が多く、旅行することが当たり前で、旅行しないと大きく損をする感覚にもなっている。また、最近ではコロナ水際対策の緩和に加え円安ということもあり、外国人の日本への旅行客が急増しているようだ。いずれにしても日本に活気が戻ることは喜ばしいことではある。そんななか、考えてみれば我が家も久しく旅行に行けてない。久しいどころか家族4人だけの旅行は一度もない。これを機会にと思っても子供達はそれぞれ仕事しており、増してや長女は昨年結婚し新たな家庭を築いたばかりで調整は簡単ではない。でも諦めず2年後の節目の還暦には、夢の家族旅行を何とか実現したいと思う今日この頃である。(ひ)

発行：日立港ロータリークラブ(翌例会日)

編集：会報・雑誌委員会

神山靖基 木村昌栄 五来美奈

平田伸一 中野紀子(事務局)

URL：<http://www.hitachi-ko-rc.com>

E-mail：[info@hitachi-ko-rc.com](mailto:info@hitachi-ko-rc.com)